

參考文獻

壹、 中文文獻

一、 書籍

- 1、 劉得寬『民法諸問題與新展望』(三民書局, 1979年)
- 2、 蘇志超、溫豐文、方正衢、林森田『地權法制現代化之研究—土地使用立體化之發展』(行政院經濟建設委員會委託研究計畫, 1990年)
- 3、 涂子平『發展權移轉對都市古蹟保存可行性研究』(文建會委託研究計畫, 1993年)
- 4、 施啟揚『民法總則』(三民書局, 1999年)
- 5、 孫憲忠『德國物權法』(五南圖書, 1999年)
- 6、 李鴻毅『土地法論(增修訂25版)』(三民書局, 2001年)。
- 7、 王澤鑑『民法總則』(三民書局, 2001年)
- 8、 溫豐文『建築物區分所有權之研究』(行政院國家科學委員會獎助代表作, 2002年)
- 9、 溫豐文『土地法』(三民書局, 2002年)
- 10、 邊泰明『土地使用規劃與財產權理論與實務』(詹氏書局, 2003年)
- 11、 謝在全『民法物權論(上冊)』(三民書局, 2004年)
- 12、 湯德宗『行政程序法論』(元照, 2005年)
- 13、 楊松齡『實用土地法精義』(五南圖書, 2005年)
- 14、 謝哲勝『土地法』(翰蘆出版有限公司, 2006年)

二、 論文

- 1、 鄭明安「美國馬里蘭州實施土地發展權移轉方案之研究」土地改革 29卷 10期(1979年10月)
- 2、 劉籐「發展權移轉與社區的分區分期發展」土地改革 29卷 10期(1979年10月)
- 3、 楊與齡「分層地上權」法令月刊 38卷 6期(1987年6月)
- 4、 溫豐文「空間權之法理」法令月刊 39卷 3期(1988年3月)
- 5、 邱萬金「區分地上權制度之研究」經社法制論叢 4期(1989年7月)
- 6、 陳立夫「日本的特定街區制度與綜合設計制度」人與地 143、144期(1995年11、12月)
- 7、 胡宏昌「TDR在美國之發展與檢討」空間雜誌 90期(1997年1月)。
- 8、 立法院財經立法促進社「容積移轉空間—『以建築容積移轉辦法取得公設保留地方案』公聽會」空間雜誌 94期(1997年9月)

- 9、陳愛娥「民眾參與的理念與實際—以民眾參與『水庫集水區』的管理為例—」警大法學論集 3 期（1998 年 3 月）
- 10、賴宗裕「民眾參與都市建設事務之意義與限制」人與地 173 期 5 月號（1998 年 5 月）
- 11、詹益勝「由財務評估觀點探討『建築容積移轉辦法取得公共設施保留地方案』可行性研究—以台北市為例」（國立成功大學都市計畫研究所碩士論文，1998 年 6 月）
- 12、吳珮君「空間權—土地空間立體使用之立法趨勢」收錄於銘傳大學編『邁向公元 2000 年學術研討會』（1998 年）
- 13、涂子平「容積移轉與都市品質」空間雜誌 108 期（1998 年 8 月）
- 14、彭耀華「發展權移轉機制何故不能取代道路地之徵收」空間雜誌 108 期（1998 年 8 月）
- 15、朱伯松『法務部民法研究修正委員會法務部民法修正委員會物權編研究修正小組會議資料（五）（地上權及區分地上權部分）彙編』（法務部總務司，1991 年）
- 16、賴宗裕、胡宏昌「建構容積移轉機制之探討—對都市計畫容積移轉辦法草案之討論」經社法制論叢 23 期（1999 年 1 月）
- 17、林元興、王萬翔「容積移轉國外案例」收錄於『內政部八十八年度古蹟土地容積移轉講習文集』（內政部民政司，1999 年）
- 18、蔡碧雲「容積移轉接收區劃設之研究—以公共設施保留地為例—」（國立成功大學都市計畫研究所碩士論文，1999 年 7 月）
- 19、蘇志超「建築容積移轉辦法理想與實際之討論」人與地 187 期（1999 年 7 月）
- 20、蔡茂寅「行政程序法草案之重要內容（三）—重要之程序規定—」收錄於國立台灣大學法律學系主辦『行政程序法草案研討會論文集』（1999 年）
- 21、蔡明誠「物權的客體」台灣本土法學 10 期（2000 年 5 月）
- 22、賴宗裕、李家儂「現行容積轉制度與容積可移轉量評估之探討」土地經濟年刊 11 期（2000 年 7 月）
- 23、陳愛娥「公共設施保留地的指定與財產權保障」台灣本土法學雜誌 10 期（2000 年 5 月）
- 24、陳明燦「財產權保障、土地使用限制與損失補償之探討—兼評『都市計畫容積移轉實施辦法』」臺北大學法學論叢 47 期（2000 年 12 月）
- 25、林更盛「物之獨立性的判斷標準」台灣本土法學第 35 期（2002 年 6 月）
- 26、曾宏揚「論新型態物權之發展與因應—以用益物權為中心」收錄於『司法官四十二期學員法學研究報告合輯』（法務部司法官訓練所，2003 年）
- 27、陳立夫「我國之容積移轉制度」月旦法學教室 17 期（2004 年 3 月）
- 28、劉厚連「我國實施古蹟土地容積移轉制度之問題檢討」土地問題研究季刊 3 卷 2 期（2004 年 6 月）

- 29、陳敏文「都市土地容積率移轉問題之研究」現代地政 277 期（2004 年 7 月）
- 30、王銘正、陳威志「中央政府容積移轉與獎勵措施之相關法規議題」收錄於『2005 年都市計畫法令研討會及座談會（北區研討會）』（內政部營建屬主辦，2005 年 10 月）
- 31、陳耀東「台北縣容積移轉與獎勵措施機制」之簡報內容，收錄於『2005 年都市計畫法令研討會及座談會（北區研討會）』（內政部營建署主辦，2005 年 10 月）
- 32、李建良「損失補償」收錄於翁岳生編『行政法（下）』（元照出版，2006 年）
- 33、陳清秀「行政法的法源」收錄於翁岳生編『行政法（上）』（元照出版，2006 年）
- 34、葉俊榮「行政命令」收錄於翁岳生編『行政法（上）』（元照出版，2006 年）
- 35、林明鏘「從大法官解釋論都市計畫之基本問題」收錄於氏著『國土計畫法學研究』（元照出版，2006 年）

貳、 外文文獻

一、 書籍

- 1、篠塚昭次『論争民法学 2』（成文堂，1976 年）。
- 2、篠塚昭次『論争民法学 3（第 3 版）』（成文堂，1977 年）。
- 3、原島重義、高島平藏等『民法講義 2（物權）』（有斐閣，1981 年）
- 4、幾代通『不動産登記法（新版）』（有斐閣，1982 年）
- 5、日本建設省空中權調查研究会『空中權—その理論と運用—』（株式会社ぎょうせい，1987 年）
- 6、宇都宮充夫『空間所有權の実現形態』（大成出版社，1987 年）
- 7、高木文雄『都市再開発における共同化問題と信託及び空間開発権に関する研究』財団法人財政經濟協會委託研究（総合研究開発機構出版，1988 年）
- 8、成田頼明『土地政策と法』（弘文堂，1989 年）
- 9、丸山英氣『現代不動産法論』（清文社，1989 年）
- 10、建設技術行政研究会『〔入門〕建設技術行政 5 都市計畫 都市設施 I—街路等』（大成出本社，1991 年）
- 11、建設技術行政研究会『〔入門〕建設技術行政 8 住宅 建築』（大成出版社，1991 年）
- 12、大澤正男『土地所有權制限の理論と展開』（成文堂，1992 年）。
- 13、甲斐道太郎、水本浩編『改定民法の基礎（基礎法律学大系 4）』（青林書院，

- 1992年)
- 14、法務省民事局内法務研究会『新訂 不動産登実務総覧(上卷)』(奥村,1996年)
 - 15、大野輝之『現代アメリカ都市計画—土地利用規制の静かな革命』(學藝出版社,1997年)
 - 16、荒秀、小高剛『不動産法概説(2)』(有斐閣,1997年第4版)
 - 17、藤田宙靖『ドイツの地法と日本の土地法』(創文社,1998年)。
 - 18、水口俊典『土地利用計画とまちづくり 規制・誘導から計画協議へ』(學藝出版社,1998年)
 - 19、荒秀、小高剛編『都市計画法規概説』(信山社出版,1998年)
 - 20、和泉洋人『容積率緩和型都市計画論』(信山社,2002年)
 - 21、鵜野和夫『改定増補・都市開発と建築基準法』(清文社,2002年)
 - 22、大橋洋一『行政法 現代行政過程論』(有斐閣,2002年)
 - 23、片倉健雄、大西正宜、建築法制研究会『建築行政 法規と秩序を学ぶ』(學藝出版社,2003年)
 - 24、日本の土地百年研究会、不動産研究所、都市環境研究所編『日本の土地百年』(大成出版社,2003年)
 - 25、安本典夫監修,兵庫県司法書士会編『都市計画・区画整理・都市再開発の実務と登記(全訂補増版)』(民法研究会,2003年)
 - 26、高木任之『都市計画・建築法規のドッキング講座』(近代消防社,2004年)
 - 27、石田頼房『日本近代都市計画の展開1868-2003』(自治體研究社,2004年)
 - 28、上山肇、加藤仁美、白木節子、吹抜楊子『実践・地区まちづくり—発意から地区計画へのプロセス—』(信山サイテック,2004年)
 - 29、稻本洋之助、小柳春一郎、周藤利一『日本の土地法—歴史と現状—』(成文堂,2004年)
 - 30、坂和章平『実務 不動産法講義』(民事法研究会,2005年)

二、 論文

- 1、篠塚昭次「空中権・地中権の法理—土地の新しい利用形態をめぐって」ジュリスト臨時増刊(1971年4月10日号)
- 2、B.BUDD CHAVOOSHIAN、THOMAS NORMAN.ESQ、GEORGE H.NIESWAND「As a Method for preserving open space : The New Jersey proposal」収録於 Jerome G. Rose『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』(Center for Urban Policy Research Rutgers, 1975年)。
- 3、DAVID A. RICHARDS,ESQ.「AS A Method of Preserving Landmarks The New

- York Plan : Transfers to Adjacent Properties」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
- 4、 ELLIS GANS 「As A Method of Avoiding the Windfalls and Wipeouts Syndrome」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
 - 5、 JEROME G. ROSE 「The Transfer of Development :An Interim Review of an Evolving Concept」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
 - 6、 JEROME G. ROSE 「British and Recent American Precedents」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
 - 7、 JOHN J. COSTONIS 「As A Method of Preserving Landmarks The Chicago Plan:Transfers of Designated Districts」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
 - 8、 LEONARD U. WILSON 「As A Method of Regulating the Location and Timing of Community Growth」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
 - 9、 NORMAN MARCUS 「AIR RIGHTS IN NEW YORK CITY:TDR,ZONING LOT MERGER AND THE WELL-CONSIDERED PLAN」 Brooklyn Law Review Vol. (1984 Summer 50Number4)
 - 10、 WILLIAM J. GOODMAN 「As A Primary System of Land Use Regulation:The Maryland Proposal」収録於 Jerome G. Rose 『The Transfer of Development Right : A New Technique of Land Use Regulation』 (Center for Urban Policy Research Rutgers , 1975 年)。
 - 11、 藤倉皓一郎 「アメリカにおいて史蹟保存と「移轉開発権できる」」 同志社法學 31 卷 5.6 號 (1980 年 3 月)
 - 12、 成田頼明 「空中・地下・海の利用をめぐる法律問題」ジュリスト増刊総合特集通巻 34 號 4 回 (1984 年 3 月)
 - 13、 高田壽史 「空中権の利用と都市開発 (下) -民間活力の導入としての日米比較」不動産研究のしおり 78 號 (1984 年 9 月)
 - 14、 大浜啟吉 「空中権における公法上の問題」法律時報 64 卷 4 號 (1992 年 3 月)
 - 15、 野村好弘、小賀野晶一 「移轉される未利用容積の権利の性格」法律時報

64 卷 4 號 (1992 年 3 月)

- 16、寺西弘文「東京の都市計画の変遷」都市問題 85 卷 5 號 (1995 年 5 月)
- 17、多田英明「地區計画制度の創設と発展の経緯」新都市 52 卷 7 號 (1998 年)
- 18、矢野進一「都市空間の有効利用 (その 1) —容積率又は空中利用に関する諸問題—」法令解説資料総覧 81 号 (1998 年 10 月)
- 19、中山善夫「アメリカにおける容積移転について—ニューヨーク市における歴史的考察を中心に—」, 不動産研究 42 卷 4 號 (2000 年 10 月)
- 20、福本泰「容積移転制度とその態」不動産研究 42 卷 4 號 (2000 年 10 月)
- 21、小林重敬「わが国の『容積移転』に関わる制度の動向について—近年の連担建築物設計制度、特例容積率適用区域制度を中心に—」不動産研究 4 卷 24 號 (2000 年 10 月)
- 22、馬場崎靖「都市計画法及び建築基準法の一部を改正する法律 (平成 12 年法律第 73 号) による都市計画法の改正とその施行について」新都市 55 卷 652 號 (2001 年 5 月)。
- 23、福本泰「容積移転制度の日米比較」収録於日端康雄主編『建築空間の容積移転とその活用』(清文社, 2002 年)
- 24、中山善夫「米国における容積移転制度—ニューヨーク市における歴史的考察を中心に—」収録於日端康雄主編『建築空間の容積移転とその活用』(清文社, 2002 年)
- 25、日端康雄「わが国の容積移転システム現状のと課題」収録於日端康雄編『建築空間の容積移転とその活用』(清文社, 2002 年)
- 26、何村茂「東京都における容積移転制度の運用上考え方」収録於日端康雄編『建築空間の容積移転とその活用』(清文社, 2002 年)
- 27、須原靖博「連担建築物設計の適用事例に関する研究」(東京大學大学院都市工学専攻, 2002 修士論文梗概集)